

ビレッジプランキャッチフレーズ もっと、ホットにキラットまっと!

真人の風

第 47号 (不定期)
(令和 5年2月25日)
(全戸配布)

地域づくり 47号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel: 86-3002

ビレッジプラン 将来プラン 発表会

中山間地域の人口減少を食い止め、農業を持続可能に進めるために県が「ビレッジプラン」実践事業の地区を指定して取り組んでいる15地区が1月27日に新潟市の自治会館を会場に成果発表会が開催され、テーマに沿った目標値や達成するための具体的な計画について報告がされました。県から指定を受けた真人里地区も1年目に人口推計のシミュレーションなどで現状把握し、2年目に将来プランの作成を行い、3年目から実行して行く計画として取り組みを進めており、農業・住環境・活性化を3本柱とした将来プランの案を発表してきました。



成果発表会 新潟市 新潟県自治会館別館ゆきつばき

真人里地区 将来プラン報告会 開催します

今後ビレッジプラン(真人里地区)策定委員会での最終協議を行い、3月25日(土)午後1時30分より「真人里地区将来プラン報告会」により住民皆様に周知し、ご意見などを伺いたいと考えております。

成果発表後は各地区との情報交換と藤山浩講師(一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所所長)による将来プラン実践にかかる講義や事例紹介について教をいただきました。

年度末ではありませんが、多くの住民の皆様から参加をいただきたくお願い申し上げます。(真人町里地振興協議会)

ビレッジプラン 策定委員会開催 【将来プラン計画案審議】

真人里地区の将来プラン策定最終案の審議を2月16日(木)の午後から策定委員と支援員により真人ふれあい交流館で行いました。

策定されたプランは、人口推計と条件設定による将来人口シミュレーションや地域の関係図の作成を初年度に行い、その後農業分野と環境分野のワークショップを行いながら、住民アンケート結果の問題や課題解決も踏まえながら策定しました。プランは厚い冊子でなく、一枚にまとめられて地域が目指す10年後の姿を3項目(農業・住環境・活性化)に掲げ、目指す姿に向けた具体的な取組とスケジュールにまとめられました。関係住民へ、この成果発表を行い、次年度から実践へのスタートをすることとしていますので、「できることやれること」に無理をしない範囲で多くの方から参加していただきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

参考: 将来プランの概要(今後紹介します)

詳細について、真人里地の住民の方は同時に配布しました「開催案内チラシ」をご覧ください

開催案内

地域課題の解決へ!!
未来に向けた次の
一手を打っていこう

第4弾!! 「住んでいるみんなが笑顔で楽しめる地域づくり」

もっと、ホットにキラットまっと!

真人里地地域将来プラン報告会!!

農業・住環境・活性化策の3本柱を今後の重点項目として取組みを進めてみよう!

住民アンケートで現状や課題が見える化され、ワークショップで深掘し「真人里地地域の将来プラン」の計画に反映させて策定しました。地域課題の解決に向けて皆様誘い合せてぜひご参加をお願いします。



人・食・農も雪も地域の資源

開催日

3/25

・2023

土曜日

時間 午後1時30分~4時
場所 真人ふれあい交流館

【集落支援員研修会】

新潟県知事政策局地域政策課の主催で令和4年度の集落支援員の研修が2月1日に長岡振興局で開催され、小規模多機能自治にかける支援員の役割と話し合い促進についての研修に参加してきました。

今まで行っている取り組みに対しての再確認とこれから取り組むポイントについて更なる認識を得てきました。今後の地域づくりに役立ててまいりたいと考えておりますが、支援員はあくまでも補助者であることから「地域で考えて地域で決めて実行する」とのスタンスとなるように意識の高揚と醸成に努めていきたいと考えております。地域の住民の皆様のご理解と「地域づくり」への関心を各々が高めていくことにご期待をしておりますので、今後ともよろしくお願ひします。



都岐沙羅 PC 齋藤主税 講師

自治会単位での自治も限界
これだけ人が減り、高齢化が進む自治会単位で賄えていたことも
↓
いままでの地域づくりは、住民自治、住民活動、住民事業、住民機能
↓
少子高齢化(多老化)の進展
↓
少子化/現役世代減少 → 税収減
高齢化(多老化) → 社会保障増
さらなるインフラの更新による支出増
↓
行政ですべてに対処することは現実的に困難

住民自治の再構築!

大切なのは
自分たちで考え、決め、実行する
という住民自治の再構築!

もともと地域自らでやっていたこと

(社会の発展により行政に任せられるようになってしまったこと)

遊水地事業説明会

真人町里地区の町内会長へ対して、国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所は国が進める遊水地事業について1月25日(水)午後7時より真人ふれあい交流館で初めての説明を行ったが、説明する内容や時間も少なく、令和5年度から進めようとする工用道路工事や本体工事(令和6年度完了)目標に対し、農地所有者(対策委員会)以外の地域住民が工事に対する影響や対応(既存農道の利用・土砂運搬車両の状況など)をはかり知るには時間も内容も不十分であり、事業主体の地域説明へのアライバイ作的であると感じました。(個人的な見解です。)

事業地の関係者は、概ね事業への協力との内容で伝わっていますが、国の21日の関係者への説明会では、今後個別に価格提示を行うことが示されました。国交省からは補償、管理や要望について丁寧な説明や回答がないとの声も聞こえており、令和6年度までに完成するために、早期に用地と補償関係を定める必要があると思われ、折り返いが順調に進められていくか注目されます。(地域づくり支援員渡邊)

2.20 地権者・耕作者会議



6年度までに完成するために、早期に用地と補償関係を定める必要があると思われ、折り返いが順調に進められていくか注目されます。(地域づくり支援員渡邊)

【サケの稚魚放流】

南小2年・4年生参加

2月13日(月)にJR東日本旅客鉄道(株)と魚沼漁業協働組合主催で小千谷市が後援の「サケ稚魚放流活動」が、川井新田の信濃川右岸河畔で実施され、信濃川の環境を学ぶ南小学校2年生18人と4年生12人が体験学習の取組として2万5千尾のサケ稚魚を信濃川へ放流しました。



鮭の帰郷率は0.2%程度であることから、4年後に50匹の鮭の遡上が期待されます。



麴づくり行っ 真農会



2月18日から20日まで3日にかけて、真農会(代表藤巻政二)は事務所において地域で需要のある麴づくりに精を出し、湿度と温度管理に留意して80キロの麴を製造しました。また、23日にはこの麴を使った手作り味噌の仕込みを行い、昨年の活動に続き、地域農業継続の一端を担う取り組みができました。

第19回 わかちち 春山トリックキング

主催 わかちち未来会議・若柳農家組合

とき 3月12日(日) 9時~15時

集合 古民家民宿「おっここの木」

参加費 千円(中学生以下無料)

持ち物 かんじき、昼食・飲み物、防寒着、手袋、脚力バー、着替え等

定員 50名(小学3年生以上)

申込締切 3月9日(木)

懇親会 散策後別途会費で手料理を問合せ・申込先 わかちち未来会議事務局 TEL 82-1410(平日昼間)

第60回全中大会出場

XC スキー大会(野沢温泉村 クラシカル)108人出走 2月8日
20位 藤巻伶菜(附属長岡1年)
39位 富澤日和(小千谷南2年)
フリー(112人出走 2月9日)
14位 藤巻伶菜(附属長岡1年)
39位 富澤日和(小千谷南2年)

両名の選手の健闘に住民一同お祝い申し上げます。コロナ禍のなか大変お疲れさまでした。



【編集後記】

最近の話題で高齢者単独世帯を含む高齢者のみ世帯での介護や入院にかかる苦勞や対応の大変なことが伝わってきます。それぞれの事情がありますが、地域や親せきで支えることにも限界もあり、なかなか難しい話ではありますが、普段からのお付き合いやコミュニケーションの必要性とともに、ある程度事前に想定した準備が必要と考えております。

自分に置き換えても「いんこっじサやごったれジサなど悪いジサ」と言われないように肝に銘じ、介護予防に努め、自立した生活を長くできるようにと考える出来事でした。

地域の将来プランを進めるうえで、高齢者のみ世帯などの困りごとや難儀なことなどの更なる実態把握が必要と考えています。また、農業の持続などにおいても農地の所有者や耕作者の意向把握も必要であるなどから、来年度に調査をさせていただきます。ご意見をいただくと考えていますので、住民の皆様のご理解とご協力をお願いします。(渡邊)